

防災と男女共同参画に関する 事業推進のための 人材育成研修

2025年

9/27(土)・28(日)

オンライン (Zoom)

受講後、全過程修了者に講師用
PowerPointデータをお送りします

講師：浅野幸子さん、池田恵子さん(減災と男女共同参画 研修推進センター)

浅野 幸子さんプロフィール

早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員。
減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表。
阪神淡路大震災でNGOのボランティアスタッフとして在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の復興まちづくり協議会支援に4年従事。その後、(財)消費生活研究所、全国地域婦人団体連絡協議会で事務局・研究員を勤めた。法政大学大学院後期博士課程終了。大学非常勤講師。主な分野は地域防災、災害とジェンダー。

池田 恵子さんプロフィール

静岡大学グローバル共創科学部教員。
減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表。
青年海外協力隊員、JICA技術協力専門家(開発とジェンダー)などとしてバングラデシュやネパールで環境保全や防災の事業にジェンダー視点を組み込む活動に従事。2000年より静岡大学教員。
日本と南アジアの国々を対象に、地域防災への女性の参加、災害リスク削減とジェンダー・多様性について研究。

対 象 : 全国女性会館協議会の会員館職員、防災・男女共同参画に関係する自治体職員、
テーマに関心のある方

定 員 : 30名(定員に達し次第受付終了)

受講料 : 9,000円(全国女性会館協議会会員館及び個人会員は6,000円)

申込手順: 6月25日(水)受付開始 申込締切日: 9月18日(木)

申込フォームからお申込みください。 <https://j-kaikan.jp/news/6960>

受付後、資料のデータを送信しますので各自印刷して受講してください。

問合せ : 特定非営利活動法人 全国女性会館協議会

Email: info@j-kaikan.jp

TEL: 03-6426-1700(月・水・金曜日 10:00~16:00)

※提供いただいた個人情報は本事業運営のみに使用し、他の目的には一切使用しません。



◆研修の概要◆

- ・Youtube動画配信によるオンデマンド事前学習(9/18~9/26)
- ・オンライン(zoom)による講義とグループワーク(9/27, 9/28)

◆研修までの流れ◆

1. 参加申込
2. 受講料振込(申込受付後、全国女性会館協議会から受講料の振込口座をお知らせします)
3. 資料受取(入金確認後、事前学習用の動画URLと資料をメールでお送りします ※9月24日頃予定)
4. 事前学習(動画を視聴してください)
5. 資料受取(当日資料を前日までにメールでお送りします ※資料は各自印刷してください)

2025年度「防災と男女共同参画に関する事業推進のための人材育成研修」概要

オンデマンド事前学習(9月18日～9月26日) 計3時間程度	
9月中旬～	事前学習資料メール送信
9月18日～9月26日	オンデマンド教材公開
9月18日～9月22日	事前学習に関する質問を事務局に送信(任意)
内 容	(基本スライドの上演) なぜ防災に男女共同参画の視点が不可欠なのかを学びます
	(基本スライドの上演) 多様性を災害支援に組み込む(要配慮者、避難行動要支援者、子ども、若年女性、LGBT、外国人)
	国の政策について共有します
	ワークショップの準備について

1日目：9月27日（土） 10:00～16:30 ※時間・内容は変更する場合があります	
午前	開会・事務連絡等
	【事前学習のふりかえりと能登半島地震の被災地からの声】
	【自治体の男女共同参画担当部門・男女センターの役割、市民団体との連携】
昼食休憩	
午後	【災害時の性暴力と対策に関するワークショップ】
	【男女センター等による取組事例】
	全体を通した質疑

2日目：9月28日（日） 10:00～15:00 ※時間・内容は変更する場合があります ★終了時間は自由参加の交流会も含めた時間です★	
午前	【災害後の事業継続と被災者支援の制度・しくみ】 ＊事業継続の視点(組織一般、行政、ステークホルダーとの関係) ＊被災者支援のためのしくみ(災害救助法、被災者生活再建支援法など) ＊災害ボランティアの活動
	【災害時の対応シミュレーション】 ＊男女センター、行政、市民団体の各立場の被災シナリオをもとに
昼食休憩	
午後	【ワークショップ: 男女共同参画の視点に立った防災事業・活動の組み立て方を考える】
	事務連絡
	【交流会】 ※自由参加、途中退出可